

令和5年度第2号会報発行にあたり

全国の防災エキスパート(高速道路サポーター)会員の皆さま、日々の活動お疲れ様です。また本会報をお読みいただいている皆さま、今後も防災エキスパート活動にご理解とご協力をお願いいたします。

今号は、西日本高速道路エンジニアリング四国 大木様にメッセージを頂きました。

本会報を最後までお読みいただき、防災エキスパートについてより理解を深めていただければ幸いです。

(事務局本部)

環境の変化に対応した最新技術の活用

防災エキスパート運営連絡会委員

西日本高速道路エンジニアリング四国(株)

取締役 土木事業本部長兼保全計画部長
大木俊之

防災エキスパート会員並びに関係者の皆様には、日頃より防災エキスパート(高速道路サポーター)活動にご理解とご協力を頂き、あらためて御礼申し上げます。

新型コロナの感染症法上の分類が「5類」に移行され、日々の生活や仕事の進め方もコロナ禍前に戻りつつあることを実感しつつ、その反面生活や業務スタイルの変化(進化)も目覚ましいものがあると感じます。

在宅勤務により、通信技術やデジタル周辺機器の進歩等を包括したリモート技術の充実は、地方移住を可能とし仕事と家族との時間の両立を促進した半面、対面による会議の大切さも感じさせてくれました。

このように我々を取り巻く環境は、日々変化(進化)していることを改めて実感する今日この頃です。

さらに、最近の自然環境の変化は驚くばかりです。

偏西風の蛇行によるものだとか諸説ありますが、猛暑日が過去最高日数を数えたり、台風が東から西へ行ってしまったりと今までの常識が覆される事象が発生しています。

特に北海道や東北での線状降水帯発生による道路冠水や床上浸水の報道が毎日のように伝えられています。

排水設計基準の違い等、過去の実績に基づき諸基準が制定されていた考え方から、想定されるリスクに基づき投資的な費用も必要費用とみなした人命第一の安全安心を優先した諸基準の制定というような抜本的な思想転換が必要かもしれません。

とは言え、土木は経験工学と言われるように過去に経験した事実を基本として、今現在の事実に向き合い、点検・調査・設計・施工・管理等を行っていく必要があると思いますし、土木以外的高速道路事業に係る業務も、その事実との向き合い方は同様だと思います。

9月1日の防災の日を迎え、今年が関東大震災から100年目に当たることから色々な角度から当時の災害事実の検証が行われています。その中に当時の被災状況写真を白黒写真からカラー写真に変換する技術に

より、当時の被災状況が色彩と合わせてより具体的に今の我々に伝わってくるものになっており、視覚的感受性による事実認識の大切さについて、改めて考えさせられました。



また、現場でもWEB立会等の最新技術の導入が行われています。

現場に行かなくても映像を確認しながら、事務所に居ながらにして昔の現場立会と同じ業務が行えるようになっていきます。私のように体力に自信がなくなり口だけは昔以上に動くような人間にとっては、高速道路事業に貢献できる一つの方法かもしれません。

可能性の一つとして、点検の現場で体力に自信のある者がカメラを搭載して現場を駆け巡り、体力に自信が無い者が現地の車中から指示を出し、必要に応じて点検課題箇所まで移動して技術的判断を行うような仕事の仕方が現実味を帯びてきているようにも思っています。

防災エキスパート(高速道路サポーター)活動は、高速道路災害復旧支援という制度設立の骨太の目的に加え、平時の点検や講演会等の実施による次の世代への知見伝承を行うことも大切な目的の一つです。

このような平時の活動は、NEXCO社員、グループ会社社員及び防災エキスパート会員が、お互いに顔の見える関係を構築し、「災害時の支援活動も、平時の活動と交流があればこそ!!」という令和5年度の活動計画に繋がっていきます。

防災エキスパート会員の皆さんが今までに経験した事実(専門的技術や業務遂行ノウハウ等)や今後導入されるであろう各種最新技術を駆使しながら防災エキスパート(高速道路サポーター)活動を行う時代がすぐそこに来ていると思います。引き続き、会員並びに関係者の皆様のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

以上

北海道支部

活動名	防災訓練
実施日	令和 5年 9月1日(金)
場所	ネクスコ・エンジニアリング北海道 本社
【内容】	・電話にて安否確認及び、参集の可否を確認。 ・同じ会社のG防災EXは、机上訓練を実施。 【参加者】 グループ会員:7名 一般会員:4名 エンジ北海道:19名



東北支部

活動名	防災訓練
実施日	令和 5年 9月1日(金)
場所	(株)ネクスコ・エンジニアリング東北 防災対策室
【内容】	(株)ネクスコ・エンジニアリング東北の防災訓練を視察。



関東支部

活動名	防災訓練 情報伝達訓練
実施日	令和 5年 9月 1日(金)
場所	(株)ネクスコ東日本エンジニアリング
【内容】	・NEE防災訓練の中で、メールを活用した派遣要請の情報伝達訓練を実施

【メール内容】
訓練、訓練。
9月1日午前4時00分頃、首都直下地震(最大震度7)が発生しました。
NEXCO関東支社より、多数の被害が確認されている管内において、
防災エキスパートの派遣要請を受けました。
現地参集の可否について、報告をお願いします。

【参加者】一般会員:10名 NEE社員役員:58名



新潟支部

活動名	NEXCO新潟支社防災訓練 情報伝達訓練
実施日	令和 5年 9月 1日(金)
場所	NEXCO東日本 新潟支社
【内容】	・訓練前説明 初動対応・原子力対応マニュアル等の説明 ・災害対策本部運営訓練 想定事象に対する対応の検討・報告 (オペレーション確認) ・支社防災訓練に防災EXが2名参加【机上】 支社よりEX参加要請のもとエンジで選定。佐渡沖での最大震度7の地震による路面損傷及び原子力発電所での異常発生を想定し、発災直後の初動対応や各部署の役割について災害図上訓練(DIG)を実施した。



活動名	新小仏トンネル建設現場見学会	活動名	防災ドローン操縦訓練視察
実施日	令和 5年 9月1日(金)	実施日	①令和 5年 8月25 日(金)② 8月28 日(月)
場所	中央道(上り線)小仏トンネル付近 (新小仏トンネル・新底沢大橋(仮称)建設現場)	場所	①忍野スカイスポーツ倶楽部 ②ドローンフィールド相模湖
【内容】 ・渋滞対策事業および工事概要説明(八王子(工)) ・新小仏トンネル、新底沢大橋現場見学 ・振り返り会議基本点検への参加 【参加者】一般会員：17名、グループ会員：6名 エンジ東京・メンテ東名・メンテ中央の中堅若手社員10名 NEXCO中日本東京・八王子支社の防災担当者2名		【内容】 防災ドローン操縦訓練の視察 ・機体性能の確認(飛行可能時間および距離、飛行時に必要なGPS の状況、防水性能等) ・操作方法、航空法等法制限の確認 ・飛行準備の確認(飛行計画作成、バッテリー充電、ドローン情報基盤システム登録等) 【参加者】一般会員:6名 エンジ東京社員15 名	
			

活動名	防災訓練
実施日	令和 5年 9月 1日(金)
場所	中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株) NEXCO中日本東京支社 八王子支社
【内容】 東京支社 第3回(発災12時間後)の支社本部運営訓練 ・事務局が作成した「進行シナリオ」により訓練を進行 ・「総括班による全体状況の説明」⇒「各対策班の詳細説明」⇒「事務所からの補足」の流れで、各班の班長・事務所から総括責任者へ報告を実施。(報告は、各対策班で、訓練に先立ち作成した報告資料をもとに実施) 【参加者】一般会員:1名 八王子支社 【内容】 ・首都直下地震における地震発生後の6時間後での対応事項をBCPを確認しながら実施 ・訓練により顕在化した課題に対する業務継続計画(BCP)の見直し ・軽被災HSCからの応援訓練 【参加者】一般会員:4名	

関西支部

活動名	出前講座	活動名	出前講座
実施日	令和 5年 7月25日(火)	実施日	令和 5年 8月28日(月)
場所	京都高速道路事務所	場所	京都高速道路事務所
【内容】 ・上映「道づくりへの挑戦・ワトキンスの見た日本」 講演「未知への挑戦」(松本) 講演「この道を我ら創らん」(芳尾) 【参加者】 一般会員：3名 事務所:25名		【内容】 ・「防災エキスパート活動状況」(阿部) ・「名神大山崎JCT交通運用」(印南) ・「トンネル防災設備」(秋庭) ・「トンネル防災設備の設計基準」 (N総研 山崎TN研究室長) ・意見交換会 【参加者】 グループ会員:1名 一般会員:4名 事務所:25名	
			

中国支部

活動名	講演会
実施日	令和 5年 7月28日(金)
場所	広島市内
【内容】 ・エンジン中国主催で、広島市内の施設で開催された「令和5年度業務研究論文発表会」に出席、論文報告を聴講(新工法等の技術研鑽)、同発表会終了後に開かれた講演会(NEXCO中国支社谷口副支社長)を聴講。	
【参加者】 一般会員:5名 NEXCO:17名 グループ会社関係:9名 その他:1名 エンジ中国:118名	

四国支部

活動名	NEXCO愛媛(高)総合防災訓練
実施日	令和 5年 9月 1日(木)
場所	重信高架下訓練所
【内容】 1) 車両移動訓練 ①ゴージャッキを使用した滞留車両の移動訓練を実施。 【管理隊指導により実施】 2) 段差補修訓練《模擬段差高さ約30cmの乗越え訓練》 ①アルミブリッジ設置。 ②土のう作成 ③土のうによる段差の摺り付け ※土のう作成及び段差擦り付け作業はエンジン指導により実施。 3) 段差乗越え訓練 ①高速隊パト、愛媛(高)黄パト、エンジン黄パト、自衛隊車両が実施 【参加者】 グループ会員: 6名 N愛媛(高)(工)41名、エンジン四国22名サービス四国2人、高速隊2人、自衛隊2人	
 	
段差乗越え状況	

活動名	NEXCO四国支社総合防災訓練
実施日	令和 5年 9月 1日(木)
場所	高松中央サテライト
【内容】 四国支社の、南海トラフ地震を想定した、実戦形式のオペレーション訓練に参加した。グループ会社社員とともに、リエゾンとして参加し、事象発生後の、 ①防災EXP体制構築完了報告、 ②防災EXP(リエゾン)の必要性の有無及び人数、 ③防災EXP(リエゾン)の到着、リエゾンと防災EXP(仮定)との情報共有)、のシミュレーションを行った。	
【参加者】 グループ会員:2名 NEXCO社員:59名、整備局:2名、警察管区:1名他、グループ会社:エンジン四国、SHD、FCT各1名	
	

活動名

NEXCO香川(高)防災訓練

実施日

令和5年9月1日(木)

場所

高松道 善通寺IC外プラ

【内容】防災実地訓練
大規模地震発生時を想定した実地訓練
①震災用アルミブリッジ設置・使用訓練
(E-トレール使用)
内容)高速道路等で発生する段差に対して、点検用車両が段差を乗り越えるための対応訓練
②車両移動訓練(ゴージャッキ使用)
内容)高速道路等で自走不能車両により点検等に支障をきたし車体を移動させる必要がある場合の対応訓練
③野営テント設営訓練(エアードームテント)
内容)大規模災害時に現場で活動する際に必要となる打合せ、待機等の場所を確保するためのテント設営訓練
【参加者】グループ会員:2名 N香川(高) 15名、エンジ四国17名



野営テント設営訓練(エアードームテント)

九州支部

活動名

NEXCO北九州高速道路事務所 防災訓練への出前講座

実施日

令和5年9月7日(木)

場所

北九州高速道路事務所 会議室

【内容】DIG(図上訓練)
防対室機器説明、無線、EXスマート操作・使用方法
Eトレール・土嚢による段差乗越え訓練
防災講演会「平成30年7月豪雨の振り返り」
平成30年7月の豪雨災害での対応事例をNEXCO北九州
高速道路の関係者に伝承する。

【参加者】
グループ会員:3名 NEXCO 関係者 20名 NEXCO グループ関係者 20名



報告 高速道路エキスパート会員数

各事務局支部の会員数について報告します。

令和5年9月末時点

支部名 会員数	北海道	東北	関東	新潟	八王子・東京	名古屋・金沢	関西	中国	四国	九州	合計
一般会員	6	38	39	9	41	26	52	13	22	32	278
グループ会員	10	27	11	24	33	23	48	8	49	65	298
計	16	65	50	33	74	49	100	21	71	97	576

一般会員:NEXCOグループ会社以外の会員 / グループ会員:NEXCOグループ会社の会員

令和5年度の各支部における上半期の活動実績と下半期の計画です。

各支部におかれましては、今後の活動計画を立案される際に、「防災会員専用ページ」や本会報で他支部の活動も確認できますのでご参考ください。

令和5年度 防災エキスパート活動状況

項目	令和5年度												備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
北海道		点⇒中止	調⇒中止	調		訓	講・支		調				
東北	点	点⇒中止				訓	出	出			支	研	
関東	点	点⇒中止			調⇒中止	訓	支・講					調	
新潟			支・講			訓							
東京・八王子		点・調⇒中止	点⇒中止・支・講		研	訓			他				他：現場見学会等
名古屋・金沢	点					訓⇒中止						支・講	
関西	調・支・講	調・他	調・他	調⇒調・出	調・出	訓⇒中止・調	調・出・他	調	調・他	調	調・他	調	他:アーカイブ取材、記事寄稿等
中国		点⇒中止	訓⇒延期	研		訓・支⇒中止					支		調：時期未定（年1回）
四国	点				研	訓	支・講・他	出	訓		講	調	他：つなぎの森四国大豊町2023への参加
九州		支・調	講⇒中止		調⇒中止	訓						支・点	

凡例

【支】支部会議、【講】講演会(支部主催・共催)、
【出】出前講座、技術講習会
【点】基本点検(会議等含む)、【訓】防災訓練
【研】講演会等の参加、【調】連絡調整会議等
【災】災害支援、【他】その他
【ボ】被災地ボランティア活動

令和3年度より、下記のとおり「防災エキスパート」会員以外の被災地ボランティア活動へ支援を行っております。

防災意識・スキル向上のための被災地ボランティア活動の支援制度

- 将来の高速道路サポーターとなる高速道路会社社員のあなた、高速道路会社のグループ会社社員のあなたが対象です。
- 旅費交通費・宿泊費等を支援します。

- 【対象者】 高速道路会社の社員、高速道路会社グループ会社の社員
- 【どういう場所】 安全が確保されている活動の場であること
例) 活動の場である被災地にて行政・現地福祉事務所や災害ボランティアセンター等が運営するボランティアセンターが設置運営されていてその団体がボランティアを募集していること
- 【活動区分】 独自で行うもの
支部等が企画したボランティア活動に参加するもの
- 【手続き方法】 ボランティア活動実施に伴う事前手続きについては、高速道路調査会ウェブサイトをご覧ください。
※申込みは、事務局支部が窓口になっております。

「防災エキスパート」活動の情報共有に会員専用ページをご活用ください。

会員の利用にあたっては、IDとパスワードによる認証が必要となります。未登録の方は、利用マニュアルが各支部にありますので、お問い合わせください。

高速道路調査会のウェブサイトを更新しました。

EHRF 高速道路調査会

高速道路調査会について Language

EHRF 高速道路調査会

高速道路調査会について Language

EHRF 高速道路調査会

高速道路調査会について Language



研究助成

研究活動の活性化、若手研究者の育成及び実務家による研究の奨励を目的として、高速道路等に関連する社会的・経済的・技術的な研究課題を公募し、その中から研究助成対象を選定し、助成を行っています。

[詳しくはこちら](#)

留学支援

道路および道路交通に関する技術的または経済的研究を目的として、海外の大学（国）もしくはそれと同等と認められる研究機関へ留学する方に留学費用の一部を助成することにより支援しています。

[詳しくはこちら](#)

防災エキスパート「高速道路サポーター」

大規模災害発生時において、これまで高速道路関係に関わった経験者、高速道路の復旧支援をいただく災害ボランティア防災エキスパート制度を運営しています。

[詳しくはこちら](#)

救急救命対策への協力・支援

高速道路および休憩施設等の利用者や事業者の関係者に心臓病に関する講座を含む心臓救急講習会を開催しています。

[詳しくはこちら](#)

- ・リーフレット（2022年3月版）（16.1MB）[NEW](#)
- ・制度の概要（2022年4月版）（14.1MB）[NEW](#)
- ・登録申請書様式（34）はこちらをダウンロードしてください。（45.8KB）[NEW](#)
- ・登録申請書様式（34）はこちらをダウンロードしてください。（45.8KB）[NEW](#)
- ・被災地ボランティア活動のご案内（2022年）（15.5KB）[NEW](#)
- ・被災地ボランティア活動のご案内（2022年）（15.5KB）[NEW](#)
- ・被災地ボランティア活動のご案内（2022年）（15.5KB）[NEW](#)
- ・被災地ボランティア活動のご案内（2022年）（15.5KB）[NEW](#)
- ・被災地ボランティア活動のご案内（2022年）（15.5KB）[NEW](#)
- ・被災地ボランティア活動のご案内（2022年）（15.5KB）[NEW](#)

活動状況の紹介

- ・会報（令和4年度第1号）（2.0MB）[NEW](#)
- ・会報（令和4年度第2号）（2.0MB）[NEW](#)
- ・会報（令和4年度第3号）（2.0MB）[NEW](#)
- ・会報（令和4年度第4号）（2.0MB）[NEW](#)

[防災エキスパート会員専用ページ](#) [防災エキスパートデータベース](#)

求む!

防災エキスパート会員「講演会説明資料」等のご提供に関するお願い

防災エキスパート会員のみならず、防災エキスパート活動に、ご尽力・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

事務局本部では、これまで皆さま方が防災講演会等で説明頂いた資料につきまして、幅広く活用したく、NEXCO社員、グループ社員へ、記録として伝承していきたいと考えています。

つきましては、皆さま方が講演等に使用されました資料につきまして、ご提供頂きたいお願い致します。

頂きました資料に関しましては、会員専用ページに掲載し、全国の会員の他、NEXCO・グループ社員に共有し、防災意識の向上に役立てて参ります。

《資料提出先》

東京都港区南麻布2-11-10 OJビル2階
高速道路調査会

防災エキスパート事務局本部

TEL: 03-6436-2090

FAX: 03-6436-2098

E-mail:

bousaiax@express-highway.or.jp

編集後記

高速道路調査会事業の1つであるハイウェイテクノフェア2023が11/9、10に東京ビッグサイトで開催されます。

ハイウェイテクノフェアは、平成16年に開始して以来、令和5年で19回目の開催となり、高速道路に関する新技術・新工法、資機材および現場の支援システム、環境技術等を紹介する展示会です。例年沢山の方にご来場いただいております。防災に関わる技術の

展示もありますので、より多くの方のご来場をお待ちしております。詳しくは調査会ウェブサイトをご確認いただき、事前登録の上ご来場ください。

また、オンライン展も11月2日から30日まで開催しております。ご来場頂けない方も是非こちらからご覧ください。ご来場予定の方も事前に確認いただけます。

会報を作成するにあたり、今回ご執筆いただいた皆様、ならびに最後までお読みいただいた皆様方にお礼申し上げます。（事務局本部）



- ・災害時の支援活動も、平時の活動と交流があればこそ！！
- ・基本点検、技術伝承、防災訓練等の交流活動から！！